

次期中間処理施設整備事業用地検討委員会

第7・8回会議の概要

第7回会議

日 時 平成25年10月27日（日）13時～16時40分

場 所 組合3階大会議室

出席者 委員15名、組合事務局7名、関係市町職員1名、コンサル2名、傍聴人11名

資 料 組合ホームページに掲載済

報告1 ごみ処理基本計画検討委員会の進捗状況の報告について

【報告内容】

ごみ処理基本計画検討委員会第5回会議の概要報告

【報告結果】

用地検討委員会として共通認識を図った主な事項は次のとおり。

- (1) 中長期的な財政状況の重要性を勘案し「経済性」についての基本方針を示すべき。
- (2) 情報公開、透明性の確保及び全員参加型の取り組みの重要性を勘案し「住民参加」についての基本方針を示すべき。

議題1 候補地の比較評価項目・基準・配点について

【提案内容】

これまでの委員意見を纏めた資料を提出し、前回会議に引き続き審議

【審議結果】

3段階による審査及び1次・2次審査の評価項目については概ねの合意が得られたが、土地に設定された各種権利と評価の関係性、住民合意形成に関する評価基準及び配点等については、次の議題3で事務局から提案した意見交換会及び次回会議で審議することとなった。

議題 2 候補地の募集要項について

次の議題 3 で事務局から提案した意見交換会及び次回会議で審議することとなった。

議題 3 その他

【提案内容】

平成 26 年 1 月から予定している候補地の募集に向けて、候補地の比較評価項目・基準・配点及び募集要項を集中審議する意見交換会（委員と事務局の意見交換を行う任意の会議）を 11 月 3 日に開催し、その後、11 月 12 日の先進地視察を延期し同日に第 8 回会議を開催したい。

【審議結果】

11 月 3 日の意見交換会及び 11 月 12 日の第 8 回会議の開催をそれぞれ承認する。

※ 11 月 3 日の 13 時～19 時 30 分に開催した意見交換会は、10 名の委員が出席し候補地の比較評価項目・基準・配点及び募集要項に係る集中審議を行い、第 8 回会議資料（案）一式を決定する。

第8回会議

日 時 平成25年11月12日（火）13時～17時15分

場 所 組合3階大会議室

出席者 委員14名、組合事務局7名、関係市町職員3名、コンサル2名、傍聴人5名

資 料 組合ホームページに掲載済

議題1 候補地の比較評価項目・基準・配点について

【提案内容】

意見交換会の審議結果を纏めた資料を提出し、前回会議に引き続き審議

【審議結果】

一部の比較評価項目名称等を修正し、パブリックコメントを募集する最終案を決定

議題2 候補地の募集要項について

【提案内容】

意見交換会の審議結果を纏めた資料を提出し、審議

【審議結果】

現施設と次期施設の規模比較表を追加するなどし、パブリックコメントを募集する最終案を決定。また、基本方針に関する各種意見が前回会議に引き続き提出され、ごみ処理基本計画検討委員会へ追加検討を依頼することとした。（P4のとおり。）

【その他】

概略スケジュール

平成25年11月19日	募集要項案等に対するパブリックコメントの募集開始
平成25年12月 8日	募集要項案等に関する説明会の開催
平成25年12月13日	募集要項案等に対するパブリックコメントの募集終了
平成25年12月22日	用地検討委員会第9回会議の開催
平成25年12月25日	募集要項等を管理者へ中間答申
平成26年 1月 6日	候補地の募集開始
平成26年 3月31日	候補地の募集終了

施設整備基本方針等に係る用地検討委員会委員の意見

1. 委員意見の総論

印西地区ごみ処理基本計画検討委員会で検討された現状の施設整備基本方針（素案）は、平成25年5月31日に閣議決定された「廃棄物処理施設整備計画」の規定に準拠した一般的な内容となっています。

次期中間処理施設整備事業用地検討委員会では、平成26年1月から次期中間処理施設の候補地を募集する予定としており、その際、土地所有者並びに印西地区住民の皆さまに対し、本地区における次期中間処理施設のイメージを的確にお示しする必要があることから、当該施設整備基本方針（素案）の追加検討につきまして、下記の委員意見を添えてお願いするものです。

2. 施設整備基本方針に関する個別の委員意見

1. 市町村の一般廃棄物処理システムを通じた3R推進

①タイトル

- ・印西地区に村はないことから当該記述は削除すべきと考えられます。

②内容

- ・「環境教育等福祉の向上」とありますが、環境教育と福祉は別の概念であることから「環境学習等・福祉等の向上」または「環境学習等3Rの推進」などの記述が考えられます。
- ・厳しい公害基準をより明確にした基本方針を示していただきたい。

2. 広域的な視野に立った廃棄物処理システムの改善

①タイトル

- ・タイトルと内容の整合が図られていないと考えられます。
- ・印西地区は既に中間処理及び最終処分事業が広域化されていることから、広域的を「長期的」などと置き換えることが考えられます。

②内容

- ・タイトルを変更しない際は、「周辺自治体とのごみ発電ネットワークを形成するなど広域的な廃棄物処理システムのあり方等を検討して最適化を図ります。」などの記述が考えられます。

3. 地球温暖化防止及び省エネルギー・創エネルギーへの取り組みにも配慮した廃棄物処理施設の整備

①内容

- ・エネルギー等への取り組みの具体例を加え「ごみの持つエネルギーを最大限有効に活用するとともに機器類等の最適設計を行うなど省エネルギー化を図った施設とし、地域特性に応じて高効率な発電や地域と連携した熱供給など創エネルギーによる地域還元に取り組み、地球温暖化防止に寄与する施設を整備します。」などの記述が考えられます。

4. 災害対策の強化

①タイトル

- ・内容から判断すると「施設の強靱化に向けての取り組み」あるいは「大規模災害時に対応できる施設計画」などの記述が考えられます。

②内容

- ・「大規模災害発生時における周辺住民の避難収容機能も具備」とした基本方針も示していただきたい。なお、当該機能は、近年の他施設事例で数多く採用されており、また、中間処理施設がそもそも有している施設及び設備機能を有効活用することから、経済性の面で不利とはなりません。
(当該機能に関して、清掃工場に一般住民を避難収容させる危険性及び印西地区は既存の避難施設が充実していることによる必要性の脆弱を趣旨とした反対意見も提出されています。)
- ・地域防災計画における防災拠点との違いが不明確であることから、混乱が懸念されます。
- ・次期中間処理施設はごみ処理事業の拠点である中、その他の事項で拠点とする言葉を用いると混乱が懸念されることから、「防災機能の充実」などに置き換えることが考えられます。(情報発信拠点も同様と考えられます。)

5. 新たな着目点

- ①中長期的な財政状況の重要性を勘案し「経済性」についての基本方針を示していただきたい。
- ②情報公開、透明性の確保及び全員参加型の取り組みの重要性を勘案し「住民参加」についての基本方針を示していただきたい。
- ③上記の①②は、整備計画全体に該当する事柄であることから、独立した項目で基本方針を示していただきたい。
- ④経済性及び周辺住民との合意形成に関連し、「コンパクトな施設」を目指す基本方針を示していただきたい。

- ⑤周辺住民との合意形成に関連し、景観に関する基本方針を示していただきたい。
(修景植栽を兼ねた緩衝緑地帯を十分に確保及び煙突等施設が地域景観に融和した意匠とする等が考えられます。)
- ⑥整備するのはごみ処理施設だけではないことをより明確にした基本方針を示していただきたい。
- ⑦「透明性と競争性に優れた契約方法を導入する」とした基本方針を示していただきたい。
- ⑧一般住民に馴染みの薄い専門用語の解説を加えていただきたい。
(一例：高効率な発電)

3. 整備する施設の概要に関する個別の委員意見

1. ごみ焼却施設の規模

- ①ごみ焼却施設の規模を「166 t / 日 ± 10% 程度」としていますが、排出原単位を 470 g / 日から 430 g / 日に変更されるのであれば、「156 t / 日 ± 10% 程度」に変更したほうが良いと考えられます。
- ②ごみ焼却施設の規模の算出にあたり見込まれている「その他のごみ」3,000 t は、現状でリサイクルしている容器包装を焼却処理することに伴う見込ごみ量としていますが、当該方針は決定していないものと思われます。よって、現状で「その他のごみ」3,000 t は見込まないほうが良いと考えられます。

2. 公害防止に係ること

- ①厳しい基準値を設定するとイニシャル・ランニングコストに跳ね返ることから、「新施設の公害防止基準は、現印西クリーンセンターと同等以上とし、施設整備時の直近の先進施設事例を参考とするとともに経済性等を加味した環境影響抑制効果のあるものとしします。」などの記述が考えられます。

以上